

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしやだんほうじん てっせんかい			
	制作団体名	公益社団法人 鎌仙会			
	代表者職・氏名	代表理事 観世暁夫		団体ウェブサイトURL <a href="http://www.tessen.org/">http://www.tessen.org/</a>	
	制作団体所在地	〒	107-0062	最寄駅(バス停)	表参道駅
		東京都港区南青山4-21-29			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな				
	公演団体名				
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	大正7年5月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 観世暁夫(鎌之丞) 理事 観世淳夫 ほか8名 監事 相原誠 北永久		役員10名(常勤1名/非常勤9名) 監事2名 事務局員3名(常勤) 正会員22名(所属能楽師) 賛助会員101名	
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	武川芳樹		
経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	藤岡美奈子		
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号		
	<a href="mailto:info@tessen.org">info@tessen.org</a>		0334012285		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>【公益社団法人 鎌仙会】</p> <p>大正7年 江戸後期の観世流宗家十五世観世左近の時に分家した、観世鎌之丞家を中心に設立</p> <p>大正14年 鎌仙会第1回公演</p> <p>昭和27年 社団法人鎌仙会を設立</p> <p>昭和30年 東京青山に鎌仙会舞台落成</p> <p>昭和40年 観世華雪七回忌追善別会「檜垣」にて芸術祭賞受賞</p> <p>昭和55年 青山研究能(現青山能)第1回公演</p> <p>昭和58年 鎌仙会能楽研修所竣工</p> <p>平成15年 鎌仙会八十周年記念能、鎌仙会能楽研修所二十周年記念能</p> <p>平成24年 公益法人認定を受ける</p> <p>平成26年 鎌仙会能楽研修所三十周年記念特別公演</p> <p>平成28年 青山能MIRAI第1回公演</p> <p>平成29年 ふらっと能楽体験@表参道開始</p> <p>令和7年 第1回公演より数え、百周年を迎える</p> <p>鎌仙会はこれまで広く舞台芸術の視野から能を見直し、全ての役を大切にすることで密度の高い舞台を実現してきた。また復曲や新作能にも参加するなど、現代に生きる演能活動を続けている。</p> <p>現在は九世観世鎌之丞を中心に、年に20回程の主催公演をはじめ、教職員向けの能楽講座「考え方講座」、野外能や企画公演、海外公演、子供のための能楽教室や一般向けのワークショップを随時行うなど、能の発展と普及に尽力している。</p>
	学校等における公演実績	<p>○学生能狂言鑑賞教室実績</p> <p>2001年～ 成城学園高等学校</p> <p>2001年～ 跡見学園中学校高等学校</p> <p>2005年～ 東洋大学</p> <p>2006年～ 三輪田学園高等学校</p> <p>2006年～ 早稲田高等学校</p> <p>2011年～ 東京都立国際高等学校</p> <p>2022年 星野学園</p> <p>○学生能狂言鑑賞と体験教室実績</p> <p>2005年～ 横浜市西区内の小学校9校</p> <p>2006年～ 専修大学松戸中学校</p> <p>成蹊中学校、浦安市立入船中学校、田園調布学園、修学旅行生(小学校)ほか</p>
	特別支援学校等における公演実績	2000年 ねむの木学園

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無			
	※公開資料有の場合URL				
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添

なし

【公演団体名】

公益社団法人 鎌仙会

】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ようこそ！能楽の世界へ！～能楽で観る鬼退治～			
企画のねらい	将来の日本の芸術文化の担い手となる子供たちに古典芸術の素晴らしさを伝え、さらに子供たちには能楽に興味を持って実際に能楽堂に足を運んでくれる観客、あるいは能楽師や能楽界を支える人材となってくれることを期待しています。 また子供たちにとって世界を知るための入り口でもある学校授業で能楽に触れることは、今後の能楽や古典芸能の発展と普及に大きな役割を果たすと考えられ、それは日本人としてのアイデンティティの強化、日本文化の継承にも繋がる重要な一步であると考えます。 そのため子供たちには比較的の理解しやすく、と同時に能狂言の本質をよく捉えた演目を選択し、鑑賞・体験してもらいます。			
演目概要・演目選択理由	<p>■狂言「柿山伏」およそ15分 修行から帰る途中の山伏が他人の畠の柿の木に登って柿を盗み食べていると畠主がやってきます。慌てて山伏は木陰に隠れますが、畠主は山伏をこらしめてやろうと思い、そこにいるのは猿か鳶かとぼけて問いかけています。山伏は慌てて動物の仕草や鳴きまねをしますが…。          〈選択理由〉柿を盗んだ罪をどうにか隠そうする姿が笑いを誘う山伏狂言です。柿を食べる仕草や、動物の鳴き声の真似など、思わず真似したくなるような狂言独特の表現が随所に見られ、子供たちの好奇心を刺激します。さらに狂言は登場人物の行動やシェエーションで笑わせるだけの喜劇ではありません。人間のいい部分も悪い部分も認め、愛し、許そうという人間愛に満ちた演劇です。その本質は是非味わってください。またこの狂言は教科書にも度々取り上げられており、馴染み深い演目でもあります。</p> <p>■能「土蜘蛛」およそ25分(省略箇所あり) 原因不明の病で床に伏している屈強な武士、源頼光のもとに怪しげな僧が現れます。驚く頼光に病の原因は自分であると僧は告げ、土蜘蛛の正体を現すと蜘蛛の糸を吐きかけて逃げ去ります。頼光の家来がそのあとを追いかけ、土蜘蛛と激闘を繰り広げ…。          〈選択理由〉土蜘蛛の巣の大道具や千筋の糸が乱れ飛ぶ舞台は圧巻で、迫力のある演出が人気の曲です。          「土蜘蛛」は切能と呼ばれる、活劇のような曲で、終曲まで視覚を楽しませる演出が散りばめられており、能の洗練された工夫が多く見られます。また、妖怪としての「土蜘蛛」は絵巻物や浮世絵、歌舞伎、そして現代においては漫画、アニメ、ゲームなどでも多く題材を取られ、ご存知の子供たちも多いかもしれません。能での描かれ方と他の文芸作品で扱われる土蜘蛛を比較して鑑賞することもまた、子供たちの想像力・感受性をかき立て、鑑賞能力の向上に繋げることが出来ると考えます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>ワークショップでは実際に舞台で使用されている能面等を目の前で見て本物の迫力に触れてもらい、その後、扇を手に能の構えやすり足、型の基本を体験することで能独特の体の使い方を学んでもらいます。また、結婚式などのおめでたい席でも謡われる能「高砂」の終曲部「千秋楽(附祝言)」を全員で稽古し、これまで学校などで習ってきた西洋式の声楽とは全く違った日本独自の謡の魅力を感じもらいます。</p> <p>本公司ではプログラム中の「能の謡を謡ってみよう」とワークショップで稽古した「千秋楽(附祝言)」を能「土蜘蛛」の終演時に能楽師とともに謡います。ワークショップに参加していない学年も含め、全員で謡を学び、能鑑賞の際には謡で参加します。</p> <p>能楽師との共演は希望により人数の限定も可能です。また、「狂言のお話」では動物の物まねや柿を食べるしぐさなど、狂言ならではの表現を全員で体験してもらいます。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公司		参加・体験人數目安	300名
			鑑賞人數目安	300名
本公司演目	狂言「柿山伏」能「土蜘蛛」 【プログラム構成】 オープニング演奏・挨拶(10分)／狂言「柿山伏」鑑賞(15分)、狂言のお話(15分)／休憩(10分・応相談)／能の謡を謡ってみよう(10分)／能「土蜘蛛」鑑賞(35分)／質問コーナー(5分)			
原作/作曲 脚本 演出/振付	公演時間	100	分	
出演者	<p>シテ方11名(うちシテ1名、ツレ1名、地謡6名、後見2名、働き1名) ※★は重要無形文化財保持者(総合認定)          観世錦之丞★、観世淳夫、鶴澤久★、清水寛二★、西村高夫★、柴田稔★、小早川修★、馬野正基★、北浪貴裕★、長山桂三★、谷本健吾★、鶴澤光★、安藤貴康、青木健一、小早川泰輝、小早川康充 他(以上予定)          ワキ方3名(ワキ1名、ワキヅレ1名、働き1名)、囃子方4名(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、狂言方3名(シテ1名、アド1名、後見1名)          観世流シテ方観世錦之丞一家(鎌仙会)を中心に、気鋭の能楽師が出演いたします。</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>観世錦之丞 観世流シテ方。1956年生まれ、1960年初舞台。2002年に九世錦之丞を襲名。2008年日本芸術院賞、2011年紫綬褒章を受ける。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技には定評がある。新作能や海外公演、映画や他ジャンルとのコラボレーション作品などにも積極的に参加する。公益社団法人鎌仙会代表理事。公益社団法人能楽協会理事長。</p> <p>観世淳夫 観世流シテ方。1992年生まれ、1996年初舞台。九世観世錦之丞の長男。能の公演のほか、ワークショップにも積極的に参加し、国内外で研鑽を積む。若き粗削りの芸に垣間見える気品には錦之丞家の一跡が感じられる。錦之丞家次期当主として次世代の能界を担う能楽師の一人。</p>			
本公司 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人數含む	出演者:	21	名	積載量: 2 t
	スタッフ:	3	名	車 長: 5.5 m
	合 計:	24	名	台 数: 1 台

本公演会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度					
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去						
	10時	10~12時	13~14時半	10分 応相談	14時半~16時						
	※本公演時間の目安は、概ね2時間程度です。										
本公演実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月	8月		9月					
	10日		6日	0日		10日					
	10月		11月	12月		1月					
	9日		5日	5日		12日					
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	57日						
本公演・ワークショップの内容	能舞台イメージ (体育館での設置図) 床に直接大道具を置きます。										
											
	(図1)			(図2)							
	「土蜘蛛」上演の様子 シテ:観世錆之丞										
											
	(図3)										
	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否										
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況						

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人 鍛仙会】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>能の言語・身体表現を通して、学校生活のみならず、世代間を越え、また国際社会でも通用するコミュニケーション能力の向上、あるいは他者と自己との認識力の向上を目的とします。同時に自国の文化に対する理解を自らの身体を通して深めてもらいます。</p> <p>導入の「能についてのお話」では、子供たちそれぞれが主体的にワークショップに参加できるよう、ワークショップのガイダンスとして、若手の能楽師が能の世界へと導きます。</p> <p>メインとなる「型・謡の稽古」では、若手能楽師による的確な指導のもと、能の身体表現を子どもたち全員が稽古します。非日常の動き、声の出し方を稽古する中で、子供たちの間の意見交換も積極的に促し、学び合う空間を作ります。また、鑑賞日の共演に向けて稽古をすることで、緊張感を持って稽古に挑む職業、能楽師を疑似体験してもらいます。</p> <p>「ふりかえり、質問コーナー」では、稽古後の感想や意見を述べ合い、皆で共有します。一度きりの体験で終わることがないよう、次回鑑賞に繋がるお話や日常に還元ができるようなお話で締めくくります。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	100
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>①能についてのお話(およそ25分)            •能とは／能の表現／能の約束／曲目様々など            実際に舞台で使用している能面等をお見せしながら、視覚的にも分かりやすくお話をいたします。</p> <p>•能「土蜘蛛」あらすじ            能の鑑賞に向けて概要や見どころをお話をいたします。</p> <p>•面装束着附実演            先生をモデルにして能面・能装束の着附を実演いたします。</p> <p>②型・謡の稽古(およそ50分)            •能楽師による仕舞「高砂」の実演            •2~3グループに分かれて稽古            鑑賞時の能楽師との共演に向け、附祝言「千秋楽」を担当能楽師と稽古します。            能の基本的な構え、動きを体験します。</p> <p>③ふりかえり、質問コーナー(およそ15分)            •児童、生徒の皆さんからの感想発表            •「土蜘蛛」に関すること、能楽師に関すること、皆さんの疑問にお答えします。            •最後に全員で「千秋楽」を謡って締めくくります。</p> <p>※休憩は応相談</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>お稽古の際は上履きを脱いで靴下で行っていただきます。            稽古で使用する扇はこちらでお持ちします。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】 公益社団法人 鎌仙会】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。					
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。					
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	条件なし	主幹引き込み電源容量	100 A以上	
	舞台設置面積	間口	15 m	奥行	14 m
		高さ	3.3 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m
	遮光の要否	5割程度必要	縦帳の要否	有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	不要	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	20 m以内	
	搬入車両の種類	ハイエース	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	1.88 m	車長	5.38 m
	備考	特になし			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	不要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	特になし			

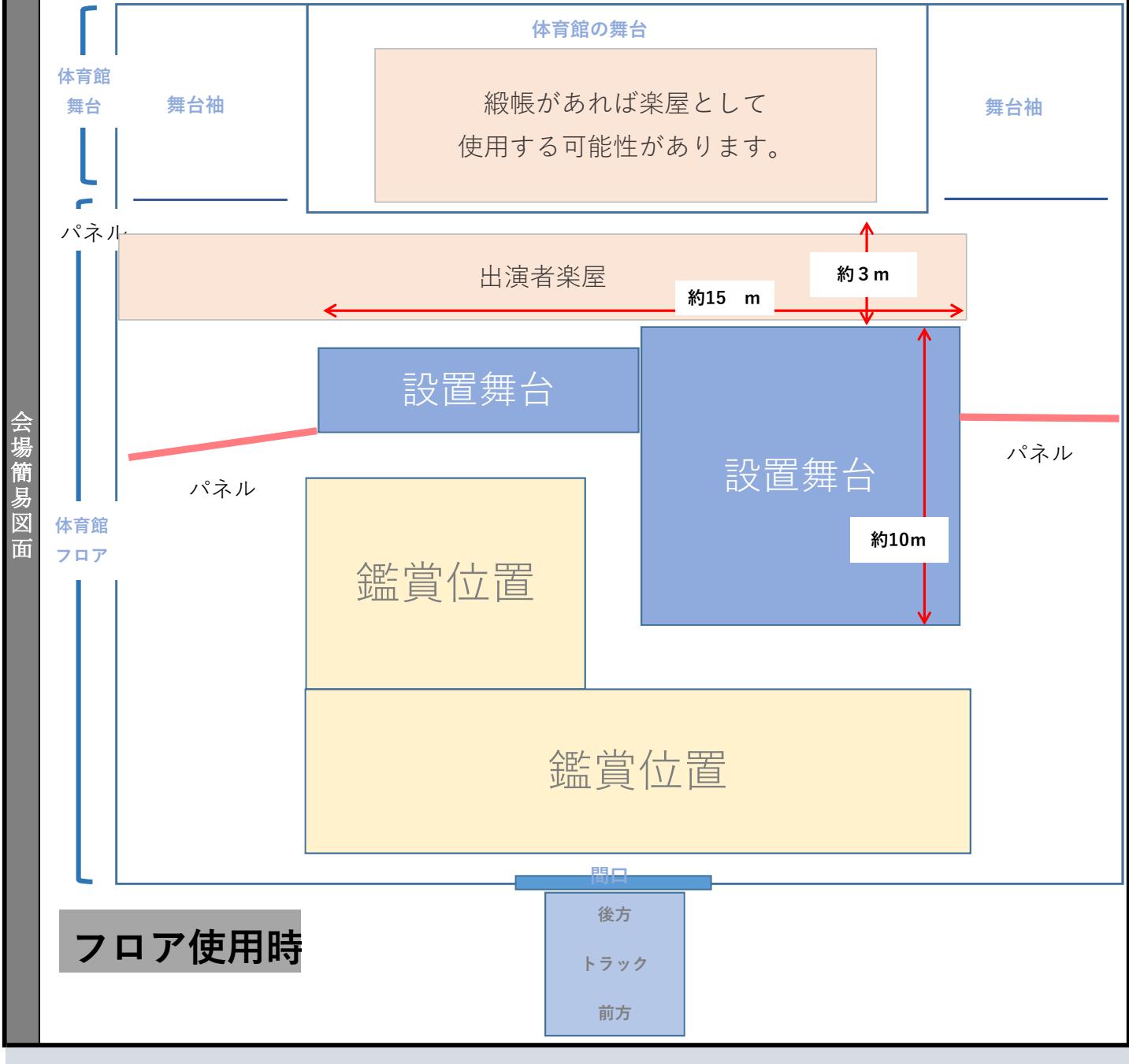
時間外対応	(任意)		万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。		
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)		上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。		
	個別ヒアリング事項				
	1 体育館のチャイム・一斉放送は緊急時を除き、切断をお願い致します。				
	2 解説時のハンドマイクは利用可能でしょうか。				
	3 体育館になるべく近い控室(20名程度、着替え・食事用)があるとありがたいです。				

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

公益社団法人 鎌仙会

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

「企画のねらい」にも記した通り、将来の日本の芸術文化の担い手となる子供たちに古典芸術の素晴らしさを伝え、実際に興味を持って能楽堂に足を運んでくれる観客、あるいは能楽師や能楽界を支える人材となってくれることを目標としています。それは今後の能楽や古典芸能の発展と普及に大きな役割を果たすのみならず、最終的には日本人としてのアイデンティティの強化、日本文化の継承にも繋がる重要な一步となることを期待します。

また、情報化、デジタル化が日進月歩で進み、インターネット等を介して様々な知識が簡単に得られる現代においても、実際に目の前で演じられる良質な舞台芸術の鑑賞や、自らの身体を通じて得た深い学びは、やはり何ものにも代え難いものであると信じます。

加えて、同じ学び舎での芸術鑑賞体験は決してその場限りのものではなく、鑑賞後にも友達同士で感想を交わすコミュニケーションの場となるなど、今後の学習の意欲にも繋がる重要な架け橋となることを期待します。

能は伝統芸能として遙か昔の物語を演じていると捉えられがちですが、曲のテーマはシンプルかつ普遍的で、現代を生きる私たちが共感できるもののが多数あります。そして先人が脈々と受け継いできた日本人の心、アイデンティティといったものが自分たちの身体にも流れているのだということに子供たち自身で気付いてもらえればと思います。

大きな声が第一の基本となる謡、地に足をつけて自力で表現する舞、そういった人間の力で行う芸能を、「体験・共演」を通して子供たちに実感してもらい、発見や気づきのある鑑賞に導けるよう尽力します。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

子供たちにとって比較的理 解しやすく、同時に能狂言の本質をよく捉えた演目を選択し、鑑賞・体験してもらいます。

また、まずは子供たちの目標に立って能がどのように見えているのかを知り、その上でどのように興味を伸ばし、浮かんだ疑問に対してどのような回答を示す事ができるかということが重要だと考えます。専門的な用語はできるだけ簡潔明瞭に示し、物語の内容解釈等については余白を残し、それぞれの考えを尊重したいと思います。

## 【学校との連絡調整について】

私たちは普段備え付けの能楽堂舞台で演能することがほとんどであり、学校の体育館という空間での上演はイレギュラーなものです。お互いの不安解消のため学校側とは連絡を密に取り、打合せを行い、これまで行ってきた学校公演のノウハウも活かし、臨機応変に対応していきたいと思います。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

事前の打合せにおいて子供たちの様子や先生方のご要望を伺い、それぞれの学校に寄り添った鑑賞会となるよう、尽力します。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップ前の予習、また本公演観賞後の復習という形でも利用できるように、事前に我々が作成してYouTubeに公開している動画を案内する。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫